

2013年(平成25年)11月14日 木曜日 10版 オピニオン

声 Voice

日米軍事同盟 近畿への脅威

会社員 浦谷 幸二

(大阪府 50)

滋賀県西部の高島市は私と妻の故郷で、今も私たちの親が暮らす。琵琶湖の眺望もよく、暮らしやすい土地だ。年に何度も帰省するが、市内にある陸上自衛隊の響庭野演習場で繰り返される日米共同訓練のため安全や自然が脅かされるのが心配だ。

先月、オスプレイが初参加しての日米共同訓練が演習場であり、詳しく報道されて注目を浴びた。実はここでの共同訓練は1986年から始まり、今回で13回目だったのはあまり知られていないと思う。昔は何年も間隔が空くことがあったのに、このところは連続だ。市街地戦闘訓練

があったという。

オスプレイ参加の訓練について、日本政府は「沖縄での負担削減のため」と言い、沖縄の米海兵隊司令官は「オスプレイがいかに能力のある航空機かを確認してもらえと思う」などと述べたが、私は沖縄にも、沖縄以外の国内にもオスプレイを持ち込まないで欲しいと思う。

また、近畿で唯一の米軍常設施設が京都府の丹後半島にできる計画も進んでいる。弾道ミサイルの発射を察知し、イージス艦などへデータを送るという移動式早期警戒レーダー「Xバンドリーダー」。これらの動きで日米の軍事同盟はさらに進むのか。平和への脅威に反対したい。

仲間の声が、掲載されました！

2013年11月14日(木)朝日新聞